

薬局・薬剤師のためのスキルアップ&マネジメント情報誌

日経ドラッグインフォメーション

プレミアム版限定記事

臨床症状のミニマムエッセンス  
「頭が痛い」と訴えられたら

症例に学ぶ 医師が処方を決めるまで  
小児滲出性中耳炎

調剤報酬請求の落とし穴  
投与日数制限による査定例

# DI

DIファイル

添付文書の改訂情報 他

サインバルタ

プレミアム版

プレミアム版創刊10周年記念特集

# 処方箋の裏側

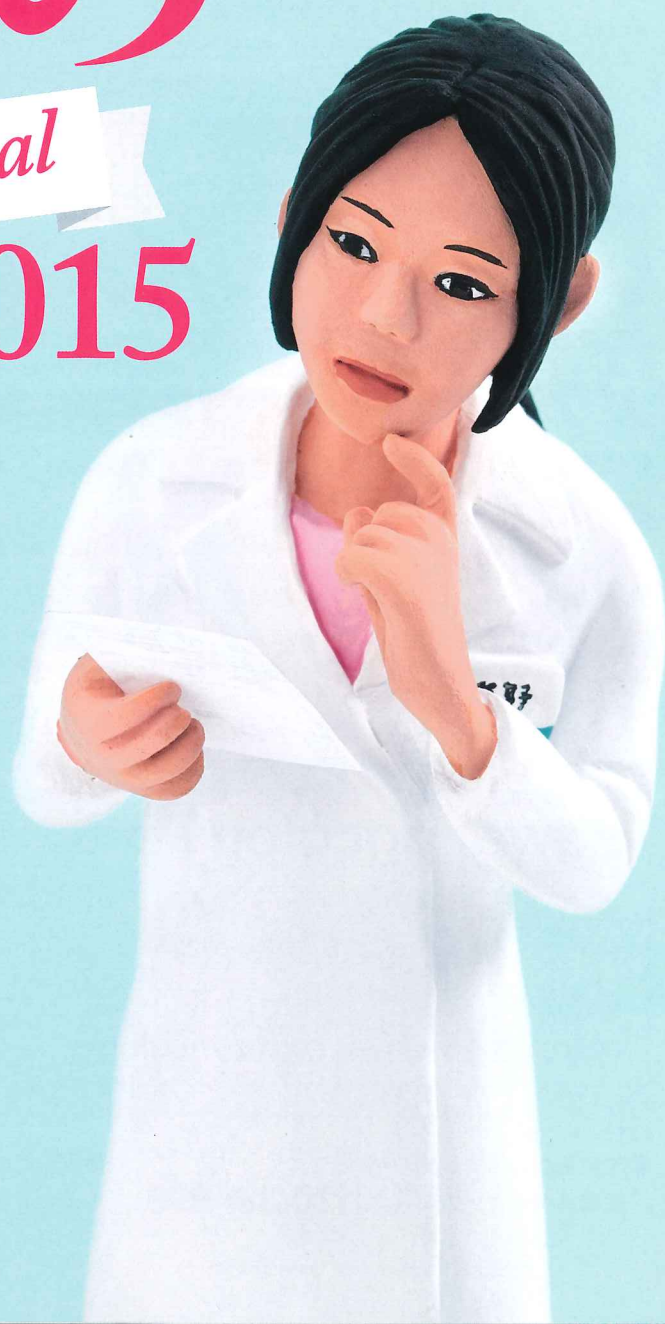
Special  
2015

REPORT

## 機能的表示食品制度がスタート

日経DIクイズ

## 喘息患者のNSAIDs 使用可否の見分け方



2015

# 6

薬剤師のための情報サイト「DI Online」

<http://di.nikkeibp.co.jp/>



# COPDによる 呼吸困難にオピオイド

医療法人アスミス(栃木県小山市) 理事長  
太田 秀樹 氏

**進** 行期の慢性閉塞性肺疾患(COPD)と胆嚢癌を数年来患っており、住み慣れた自宅で療養生活を送っている高野弘子さん(仮名、88歳)。超高齢で虚弱化しており、本人も家族も、積極的な治療よりも、苦痛を取り除く緩和ケアを望んでいた。

そこで私が処方したのが、右の薬剤だ。このうち、アンペック坐剤(一般名モルヒネ塩酸塩水和物)は、何のために処方していると考えられるだろうか。恐らく、「胆嚢癌による癌性疼痛の緩和」と推察する薬剤師が多いだろう。だが、高野さんは体の痛みは訴えていなかった。高齢患者では、末期癌でも癌性疼痛を伴わないこともある。

私がモルヒネを処方したのは、COPDによる呼吸困難の緩和のためだ。呼吸困難のつらさは、あらゆる苦しみの中で最上級ともいわれる。ただし、

日本においてモルヒネは呼吸困難への保険適応を有していないため、保険病名は「胆嚢癌による癌性疼痛の緩和」としている。

しばしば、「呼吸困難にオピオイドは禁忌」と誤解されるが、呼吸困難と呼吸抑制は別物だ。呼吸抑制は呼

吸中枢への直接的な作用によって二酸化炭素への反応性が低下し、呼吸回数が減少するもの。COPD患者へのオピオイド使用では、投与量を適切にコントロールすれば、呼吸抑制の問題はほとんど発生しないとされる。

欧米では、COPD患者の呼吸困難の緩和にオピオイド系鎮痛薬がしばしば用いられる。実際、複数の臨床研究でその有効性が示唆されている。日本でも、日本呼吸器学会の『COPD診断と治療のためのガイドライン 第4版』において、「進行したCOPD患者に対する経口オピオイドはその効果が確認されている」と明記されている。

オピオイドが呼吸困難を緩和するメカニズムは明らかになっていないが、呼

**おおた・ひでき氏** 1979年日本大学医学部卒業。自治医科大学大学院修了。自治医大整形外科医局長、同専任講師を経て、92年おやま城北クリニック(栃木県小山市)を開院。2013年6月号で、リウマチ性多発筋痛症に対する処方箋の裏側を解説。

## 処方箋

(この処方箋は、どの保険薬局でも有効です。)

氏名	高野 弘子		保険医療機関の所在地及び名称	おやま城北クリニック 〒323-0014 栃木県小山市 大字喜沢1475番地328	
生年月日	明治60年11月20日	男	電話番号	0285-24-XXXX	
区分	被保険者	被扶養者	保険医氏名	太田 秀樹	
交付年月日	平成27年4月3日	処方箋の使用期間	平成	年	月 日
変更不可	(1) シムピコートタービュヘイラー60吸入 1本 1回2吸入 1日2回 朝夕				
処方	(2) スピリーバ25μgレスピマット60吸入 1個 1回2吸入 1日1回 朝				
	(3) ホクナリンテープ2mg 14枚 1回1枚 1日1回 入浴後に貼付				
方	(4) プレドニン錠5mg 1回1錠(1日2錠) 1日2回 朝夕食後 14日分				
	(5) アンペック坐剤10mg 28個 1回1個 1日2回 直腸内に挿入 以下余白				

吸中枢における呼吸困難の知覚抑制、呼吸回数や換気量の低下に伴う呼吸仕事量の軽減、肺血管抵抗の低下による心負荷の軽減などが考えられている。加えて、オピオイドのうちモルヒネには、多幸感をもたらす作用もあり、それによる不安の軽減が呼吸困難の緩和に大きく寄与していると思われる。フェンタニルはモルヒネに比べ、呼吸困難の緩和作用や多幸感がやや弱い印象だ。

オピオイドの使い分けに関しては医師の好みもあるだろうが、私は、経口投与が困難な患者でも使用できるアンペックや、速効性があり調節しやすい液剤のオプソ(モルヒネ塩酸塩)をよく使う。

なお古典的には、「胆石など胆嚢疾患による疼痛にモルヒネは禁忌」とされる。モルヒネには、胆管と十二指腸のつなぎ目で胆汁分泌を調節する「オクディ括約筋」を収縮させる作用があるといわれているからだ。だが、临床上はデメリットを感じることはなく、胆嚢癌の患者にもモルヒネが使われている。(談)

